

令和2年6月19日開催

教育委員会会議録

福知山市教育委員会

- 1 開会の日時 令和2年6月19日(金)
午後1時30分
- 2 閉会の日時 令和2年6月19日(金)
午後1時58分
- 3 招集の場所 福知山市役所6階 601会議室
- 4 出席委員の氏名 端野 学
塩見 佳扶子
大槻 豊子
和田 大顕
加藤 由美
- 5 福知山市教育委員会会議規則第4条により列席したもの
教育部長 前田 剛
教育委員会事務局理事 廣田 康男
次長兼教育総務課長 牧 正博
次長兼学校教育課長 崎山 正人
学校教育課担当課長兼教育総務課 伊豆 英一
学校教育課総括指導主事 新井 敏之
学校給食センター所長 村瀬 勝子
生涯学習課長兼中央公民館長 八瀬 正雄
図書館長 浅田 久子
- 6 福知山市教育委員会会議規則第15条による会議録作成者
次長兼教育総務課長 牧 正博

7 議事及び議題
別添のとおり

8 質問討議の概要
別紙会議録のとおり

9 決議事項
なし

福知山市教育委員会会議規則第15条により署名する者

福知山市教育委員会 教育長

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

教育委員会会議録調製者 教育部長

教育委員会会議録

1 開会

端野教育長が開会を宣告。

端野教育長 6月1日から全ての学校が再開になり、この市立学校につきましても同じく10日ほど前から段階を追って再開をしました。その報告をさせていただきます。

例年ですと、もう既に小学校ではプールが始まる時期になりますが、本年度は実施できずに、子どもたちもちょっと寂しい思いをしていると思います。

このような状況ではありますが、今日、再開の時の学校の様子等については、報告をさせていただきながら進めさせていただきたいと思っております。それでは、会議に入らせていただきます。ただ今のところ傍聴はないようですけれども、新たに傍聴申請があれば許可をしてもよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

2 教育長報告の要旨

端野教育長から以下の報告がありました。

(1) 令和2年度全国高等学校総合体育大会の全競技、総合開会式の中止について

ソフトテニス会場として予定されていた本市でのソフトテニス協議開催の中止が決定された。(新型コロナウイルス感染防止のため)

予定をしておりました令和2年度全国高校総合体育大会の全ての競技と総合の開会式等は中止されました。当然、福知山市が会場になっておりましたソフトテニス競技の開催につきましても中止になりました。計画段階では8月10日から24日の期間になり、この夏には監督と選手等で2,000人ほど、観客が42,000人という想定の中で計画が進んでいました。

(2) 新型コロナウイルス感染症への対応(国からの主な通知文等)

ア 新型コロナウイルス感染症対策としての学校の臨時休業に係る学校運営上の工夫について(通知)5月1日

イ 新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言から「新しい生活様式」5月4日

ウ 学校教育活動再開時における登下校時の安全確保について

エ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施における「学びの保障」の方向性等について(通知)5月18日

オ 学校の体育の授業におけるマスク着用の必要性について 5月21日

カ 今年度における学校の水泳授業の取り扱いについて 5月22日

キ 学校における審がコロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル 5月22日

ク 新型コロナウイルス感染症に対応した小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における教育活動の再開後の児童生徒に対する生徒指導上の留意事項について(通知)5月27日

ケ 学校の授業における学習活動の重点化に係る留意事項等について(通知)6月5日

コ 新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドライン及び新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の「学びの保障」総合対策パッケージ 6月5日

それから、2点目は、新型コロナウイルス感染症への対応について、国からさまざまな文書が出てきました。最近の主だったものを10点挙げております。

まず、5月1日に「新型コロナウイルス感染症対策としての学校の臨時休業に係る学校運営上の工夫について」、4日は「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言から『新しい生活様式』」、3点目が「学校教育活動再開時における登下校時の安全確保について」、4点目に「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施における『学びの保障』の方向性等について」、5点目に「学校の体育の授業におけるマスク着用の必要性について」、6点目に「今年度における学校の水泳授業の取り扱いについて」、7点目に「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」、8点目に「新型コロナウイルス感染症に対応した小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における教育活動の再開後の児童生徒に対する生徒指導上の留意事項について」、9点目が「学校の授業における学習活動の重点化に係る留意事項等について」、最後に「新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドライン及び新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の『学びの保障』総合対策パッケージ」、この10点を挙げました。

10点目の一番最後のガイドラインおよび総合対策パッケージ、これだけをコピーして付けさせてもらいました。一番上のところに「これまで示してきた『学校再開ガイドライン』等の内容をまとめて一つのガイドラインとして示すとともに、『学びの保障』に関する基本的考え方とそのための支援施策をまとめてパッケージとして示します」ということで、これまで出たものの現段階の最終版です。

中を見ていただいたら、一つのガイドラインが示されて、時間数や日数も足りなくなるため、どのように措置をとるかが課題となります。

特に、小学1年生、6年生、中学3年生を優先的に、特に進路の関係もあることが書かれており、それから時間数が足りないけれどもどうしたよいかということも考えておかないといけない。それと子どもが欠席した場合や教職員の勤務ができない場合の対応などが示されております。

この福知山市教育委員会で取組んできたこと等についても触れられています。特に給食の問題や放課後児童クラブの問題、そういったことも示されております。

そして、「学びの保障」総合対策パッケージというのが最後にあります。

A判の別添2という横書きのものです。これの1枚目に全体概要というページがあり、ここに「新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の『学びの保障』総合対策パッケージ全体概要」ということで、「あらゆる手段で、子どもたち誰一人取り残すことなく、最大限に学びを保障」とで、ひし形4点。ここが一つの柱です。

1つは、授業を協働学習など学校でしかできない学習活動に重点化し、限られた授業時数の中で効果的に指導することです。子どもたちが学校へ来て担任が指導をする、対面をした授業でないと学習できない、それがふさわしい学習内容であれば、必ずしも学校で教師と対面しなくても家庭学習や宿題という形で指導できることもあると思います。それから、2点目が、指導事項の一部を次年度以降に移す特例的な対応を可能にすること。

今年ではできないので来年度になります。しかし、これについては、次年度に向けての引き継ぎや転出入があった場合の引き継ぎのことも含まれますので、特例的な対応も可とすること。

それから、3点目が、人的・物的体制の緊急整備で、そこに教員の加配措置や学習指導員の配置において、スクールサポートスタッフを増やしていく人員の配置。

4点目が、オンライン学習の確立。

後で予算の説明もさせていただきます。

学校が休みになりますので、在宅の子どもたちに指導をしたり、連絡を入れたり、直接担任が学校で授業ができない、そういう状況への対応策としてのオンライン学習の確立。この大きな4点が柱として全体概要としてあります。

学校は再開をしましたが、限られた時間と条件の中で、いかに教育課程を100%実施するか。また、できない場合にどうするか。また、いかに有効な教育指導を実施できるか。再開はしたものの大きな課題としてあります。

それから、もう1枚、「市立学校教育活動再開にあたり」、長い間育委員会のホームページを更新しませんでした。後期計画を長い間あげておりましたが、6月1日から学校が再開しましたので、ホームページを更新しました。

最後6行目、今後について課題はありますが、感染症と共に生きていけないといけない。その対策を講じながら健やかな子どもたちへの学びの保障をするという新たな課題もあります。

報告は以上ですが、何か御質問、御意見をいただくことがありましたら、よろしく願います。

3 教育委員会 報告・説明事項

(1)「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」策定委員会委員の委嘱および任命について

端野教育長 次に報告事項に入ります。よろしく願います。

浅田図書館長 ～資料に基づき説明～

その1の資料で、説明させていただきます。

第3次福知山市子どもの読書活動推進計画策定委員会委員の委嘱および任命についてで、まずは4ページを御覧くださいませ。現在、福知山市では第2次福知山市子どもの読書活動推進計画に基づきまして、家庭、学校、保育園、幼稚園、地域、そして図書館が連携して、子どもの読書活動を推進しております。

このたび計画期間が平成28年度から令和2年度となり、本年度が最終年度となります。第2次計画の最終年度としての取り組みを進めながら、その成果と課題を明確にし、そしてそれを踏まえて第3次計画を策定することとしております。この策定スケジュール案に沿いまして、委員会は4回、また本計画の推進に係る関係課による庁内検討委員会を7名の関係課の職員が集まって設置する庁内検討委員会を設置し、委員会で協議していただくための準備等を進めていくこととしております。

それでは、委員名簿を御覧ください。2ページになります。3ページに掲載させていただきました委員会の設置要綱に基づき7名の策定委員で構成をしております。

2ページの上から御説明させていただきます。学識経験者といたしまして、福知山公立大学准教授大谷杏先生、また福知山成美高等学校講師上垣裕子先生にお世話になります。福知山市立図書館協議会委員からは仲野恵子委員、また市立学校校長会から市立学校昭和小学校の校長でいらっしゃいます赤井暁子先生、そして福知山の保育協会から現在天津保育園園長で保育協会の理事をされております新井清子先生。そして、ボランティアの代表といたしまして、遷喬小学校読みきかせボランティア・図書館環境整備ボランティアで御活躍していただいております梅田幸子さま、そして教育委員会から前田教育部長に参加いただくこととしております。

なお、この7名の委員にお世話になりまして策定させていただいて、令和3年2月ごろになると考えておりますけれども、第3次案が策定できました折には改めてこの教育委員会議で御説明させていただきたいと考えております。

以上、御報告をさせていただきます。よろしく願いいたします。

端野教育長 それでは、今の報告につきまして、御質問、御意見等はありませんでしょうか。

和田委員 スケジュールのところで確認しておきたいと思います。
12月のパブリックコメントについては、市民の方々からお受けされると思います。7月の「校長会でアンケート調査のお願い」と書いてあるのは、校長先生方にアンケートをするということですか。

浅田図書館長 各学校に現在の取り組み等についてのアンケートを学校向けに配布させていただいてご回答いただきたいと思っております。

和田委員 学校の先生方の意見を頂くということですか。

浅田図書館長 そうということです。

塩見委員 委員さんのことについて教えてください。学識経験者大谷杏先生、公立大学准教授は、どの分野のご専門の先生ですか。

浅田図書館長 図書館についてフィンランドで長い間滞在をされて論文を書かれていたと聞いておりました。図書館のいろいろな研究を現在進められていらっしゃる先生でおられました。私はその論文を読ませていただいて、とても難しい内容でありました。フィンランドは図書館の教育がすごく進んでいて、そこに滞在されて論文を書かれています。そういう意味で図書館につて研究をされていますので、今回お世話になることになりました。

端野教育長 他に御質問はありますか。

全委員 特になし。

(2) 新型コロナウイルス感染症に伴う対応について

端野教育長 続いて、新型コロナウイルス感染症に伴う対応についての説明をお願いします。

廣田理事 ～資料に基づき説明～

本日は、感染症の対応について、中学校の部活動の大会について説明をさせていただきます。5ページをご覧ください。

教育委員会で市あるいは学振の行事等の見直し等についてお話しさせていただきましたが、本日は先ほど申し上げましたように、中学校の大きな一つの行事でもあります5月の大会についてであります。

既にマスコミ等で報道されてますように、高校もいろいろと中止等の動き、あるいは部分開催等もあります。中学校におきましては、この夏の全国大会、近畿大会、京都府大会は早々に中止が決まっております、

中丹でどうするかということで検討を重ねてきて、6月の中旬に行われました中体連の中丹の理事会におきまして、その予定のように決まっております。

中学校の部活動の大会につきましては、これまでは各市で団体競技は試合をしまして、その代表が中丹大会、そしてその代表が府大会になっていきましたが、競技によりましては最初から中丹で一括で大会をするということで、昨年から行っておりました。今年については、団体競技についてはすべての競技でそういう想定をしておりましたが、コロナの対応ということで、中丹大会ではあるけども、分散大会という形で今年を行うことになりました。今、見ていただいているような各競技については、その日程で、福知山市の学校を中心に行うことになりました。

綾部市につきましては、本市もそうですが、少子化の関係で学校チーム数等も競技によってはだいぶ減っております。そこで中丹3市で相談をしまして、綾部市の学校については団体について綾部だけでやられる競技もありますし、舞鶴へ行ったり福知山に来ていただいたりということで、その備考に書いてある競技につきましては福知山の学校と一緒に競技をしていくことになっています。上の大会にはつながっていきませんが、ここまで3年間頑張ってきた部活動の一つの集大成の成果として、一区切りにさせて頑張らせたいと思っております。

なお、保護者の観戦等につきましては、中体連を中心に検討して、改めて保護者に周知をしていくという形を考えております。

以上であります。

- 端野教育長 何か御質問等はありませんでしょうか。
- 和田委員 通常なら中丹が終わったら次の大会がありますが。今年はどうですか。
- 廣田理事 今年、ありません。
全国的には、5月初めぐらいに中止になったということで、中丹がもう最終ということです。
- 大槻委員 この間から、私は南陵中学校へ少し放課後補習のお手伝いに行っています。その時に、子どもたちが張り切って部活動をしています。私はこの大会があるということを知らなかったのも、最後、3年生にとっては本当に上につながる大会はなくても、こういった3年間の成果が出せる場所があって良かったなと思えました。ありがとうございました。
- 廣田理事 昨日付で保護者に連絡をしています。子どもたち、保護者には「ない」というよりは、今、開催に向けて先生たちは調整していますと子どもたちには伝えてあります。昨日をもって、市が中心になり一つ大会をやるということで連絡をしております。
- 大槻委員 子どもたちも昨日知っているんですね。
- 廣田理事 今週末から練習試合等も、この土日は市内のみで行い、次からは大会まで中丹管内の練習試合も3市で相談しまして認めていこうということで考えております。ただ、中学校の音楽祭の開催については中止ということになっております。

大槻委員 できれば、保護者の応援というのも人数を制限して、見せてあげたいなと思います。

廣田理事 グラウンドと室内の状況が違ったりしますので、その辺も理事会でどうするかという議論を重ねていると聞いています。

大槻委員 ありがとうございます。

和田委員 学校へ行きづらい児童生徒の数が過去最高という報道がされていますけれども。福知山市立学校において、そんな児童生徒が何人いるんですか。学校や市の教育指導係で、不登校の児童生徒には定義がありますね。

廣田理事 はい。

和田委員 この学校へ行きづらい子どもたちには定義がないんですね。それで、余計に捉えづらいし、把握しにくいだろうと思います。この指導係のほうだと思いますが、この学校へ行きづらい子どもたちの視点はお持ちなのかどうかをお聞きします。

廣田理事 欠席がち、あるいは欠席が続いている生徒についてはそれぞれ個別の対応をして、必要に応じて指導主事なり指導係とも連携をして、対応はさせていただいています。

また、教育長とも学校訪問で全校回りましたが。新たにコロナによってというよりは、これまで不登校だった子が最初は調子よく来かけたけれども、やはり学校生活が続く中でまた休みかけたというのがあります。コロナで長期間休み、欠席が増えるのではないかと心配をしていましたが、その傾向はほぼないと各校からは聞いております。

端野教育長 他に御質問はありますか。

全委員 特になし。

4 閉会

端野教育長が閉会を宣言。